

# 2025年度 活動報告

臨床美術「ほっかいどう」

# 2025年度の主な活動 (日時、内容等をわかりやすく記載)

日程	項目	方法	内容	会場	具体的活動
5月17日(土) 20:00～	第69回例会	Zoom 交流会	困りごとや画材購入についてなどの相談	各自宅会議室	アンケート協力&相談室&情報共有
6月14日(土) 10:00～	総会	対面 Zoom	第13回総会	札幌市民交流プラザ3階 小練習室1	総会議事
7月12日 (土)13:30～	第70回例会	Zoom	「ぶんだんきょうフェスティバル」ワークショップ勉強会(堀江)	各自宅会議室	プログラム 勉強会
8月7日(木)8月 8日(金)～10 日(土)	第54回SAPPORO 「ぶんだんきょう フェスティバル」 参加	対面	共同作品展示(会員作品展会場) 臨床美術作品展示(ワークショップ会場) ワークショップ	札幌市民交流プラザ SCARTSスタジオ & SCARTSモールC	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有志による 共同作品展示</li> <li>・作品&amp;ポスター展示</li> <li>・ワークショップ</li> </ul>
8月15日(金) ～17日(日)	「こどもアールブリュット北海道未来作品展」参加	対面	全道小・中学生対象、申込作品全展示	札幌市民交流プラ SCARTS A・B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10点展示</li> </ul>



ぶんだんきょうフェスティバル

日程	項目	方法	内容	会場	具体的活動
8月21日(木) ～22日(金)	つながるアート 展ー臨床美術と アーツセラピー の仲間たち展ー	対面	臨床美術と共に他の 芸術療法を紹介・体 験して頂く	SCARTSモー ル A・B	・臨床美術作品展&ポスター展示 ・ワークショップ(臨床美術・療法音 楽・園芸療法) ・臨床美術ミニ講演(加藤力氏)
9月12日(金) ～13日(土)	第71回例会	対面	「心喜ぶ、思いっき りアート作品展」	函館市地域交 流 まちづくり センター	・作品展前日の展示実践 & 会場設営 の展示の実際体験
11月9日(日) 20:00～	第72回例会	Zoom	交流会	各自宅会議室	・困りごとや画材購入についてなど の相談 ・地域リーダー交流会
1月31日(土) 12:00～	第73回例会 新年会	対面 Zoom	会員交流会 &講演	札幌市民交流 プラザ4階 控 室 403	・新年会食事会 ・講演講師：松田 弘氏 (東広島市 美 術館館長)
3月7日(土) 10:00～	第74回例会	対面 Zoom	オリジナルアートプ ログラム勉強会	札幌市民交流 プラザ4階 控 室 403	・オリジナルプログラム制作「幸せ を呼ぶ甲骨文字」改良点など確認し ブラッシュアップ研修

7月5日(土)～10日(木)札幌  
7月26日(土)札幌

8月22日(金)札幌、23日(土)函館  
9月6日(土)～10月25日(土)函館

第63回北彩展ワークショップ担当者の呼びかけ  
全国重症心身障がい児者日中活動支援協議会北海道研修会ワークショップでのサブ  
スタッフの協力を呼びかける  
TOPPAN芸造研北海道プログラム研修会 会員に参加を呼びかける  
北海道臨床美術士5級取得講座参加の呼びかけ

松田弘館長講演

**廣か広**  
ドームが見つめ続けた街展

**島ら島**

Story of the Atomic Bomb Dome and the Hiroshima City  
From Hiroshima to Hiroshima

戦前の“広島”も 現在の“広島”も  
この空の下でつながっている

平成22年  
**2010.8.5(木) ▶ 9.20(月・祝)**

入場料 一般 1,000円(0歳児 無料) 小学生 500円(4歳児 無料) 中学生以上の入場料は別  
【お問い合わせ先】広島県立美術館 企画課 TEL:083-821-2111 FAX:083-821-2112  
E-MAIL: info@hiroshima-art-museum.jp URL: www.hiroshima-art-museum.jp

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 月曜日(8月30日休館日)  
休 毎日月曜日(8月30日休館日)

被爆65年

**広島県立美術館**  
Hiroshima Prefectural Art Museum

# 役員会・リーダー会

日程	項目	方法	場所	内容
5月1日 20:00~	役員会	Zoom	各自会議室	総会資料確認
7月5日(土) 20:00~	支部交流会	Zoom	各自会議室	各地域のリーダーの交流会
1月19日 20:00~	役員会	Zoom	各自会議室	新年会の持ち方 新入会員について
1月28日 11:00~	操作方法の 確認	Zoom	各自会議室	新年会&例会 講演会リハーサル
3月21日 20:00~	役員会	Zoom	各自会議室	今年度の振り返り 来年度の活動、予算、役員体制、

この他にはグループLINE を使用して頻繁に意見交換を行いました

# 課題 – 2025年度の活動を通して見えてきた今後の課題

- 1, 青森県在住の臨床美術士、新たに臨床美術士の資格を持った方、道外からの移住者、  
によって会員数が増えた。  
➡臨床美術士の交流、情報交換、学び合う場として運営している臨床美術「ほっかいどう」の働きが益々必要とされる。会員にとって必要とされる活動の充実を図っていく。
- 2, 会員に正しく情報を伝え、会員の必要に答える活動を提供する為、地理的に近い地域ごとにリーダーを任命し、その地域のリーダーを中心に、共に活動する機会を設け、互いの関係性を維持又は強めて頂くようすすめた。必要に応じてリーダー会を設け、地域の必要を把握し対応していくよう努めた。  
➡地域の会員数と、把握する範囲、臨床美術に使える時間等、個々の臨床美術士によって異なるものではあるが、広い北海道において地域ごとの交流は、今後も必要である。リーダーとの情報共有、地域に繋がっていない方への情報提供など細やかな関りを持っていく。

# 課題 – 2025年度の活動を通して見えてきた今後の課題

3, 各地域の活動を応援するために、支部活動費の予算を計上したが利用されなかった。

➡申請方法が分からなかった、宣伝不足であった。支給にあたり必要な用紙を整え、利用を促していく。

4, 会員のニーズの把握としてアンケート調査を行ったが、回答を寄せる会員が少ない為実態把握が難しかった。

➡臨床美術に関するメールが頻繁に送られてくるために、どのメールが自分にとって必要なメールかの判断が難しく、答える必要があるメールにも反応できない実態がある。

アンケートに対して回答の仕方が分からない方も一部いる可能性がある

➡各会員が、直接返答できる専用アプリを検討していく。良いものがあれば教えて欲しい。現在はGoogleグループで管理している。

# 課題 – 2025年度の活動を通して見えてきた今後の課題

- 5, 以前はほとんど対面で面識があったが、コロナ禍を経て、Zoomの利用やメールやSNSでの関わりも増え、現場が無くなったことで活動も減り、臨床美術「ほっかいどう」への所属意識や関係性が弱くなったと感じる会員がいる。
  - ➔個々の会員の状況は様々である、足踏み状況の方も居るが、会に所属し応援してくれている会費納入の際は感謝のハガキを送る。所属する臨床美術士を励ましていく
  
- 6, 会のパンフレットの内容が古くなった
  - ➔内容を最新に更新して、作成する

# 展望・目標 – 2026年度の計画

- 新旧の会員の交流、会員同士の親睦を図るため、臨床美術「ほっかいどう」主催の例会、交流会、新年会に加え、他の団体が主催する、研修会や臨床美術士資格所得講座への誘い、作品展、講習会、各種セッションへのお誘い等、対面による活動を積極的に情報共有していき、臨床美術士のスキルアップに努める。
- 会員数がとても増えた、現在の役員体制では賄えないため、見直しが必要である。新しい方に役員になってもらいたい、新しい考えを取り込む過度期を迎えている。事務局に補佐を置き、仕事の配分を行う。
- 新入会員は、例会案内などのタイミングで会員に知らせる。
- 札幌文化団体交流会主催「ぶんだんきょうフェスティバル展示部門に参加するなるべく多くの臨床美術「ほっかいどう」の会員が参加できる共同作品を制作展示する。
- 20周年に備える一人員、予算両面にわたり意識していく